

発電設備等システムアクセス業務に係る情報の取りまとめ
(2019年10月～12月の受付・回答分)

2020年2月

電力広域的運営推進機関

電力広域的運営推進機関（以下、広域機関という。）にて規定している業務規程第100条第2項において、一般送配電事業者から提出された「事前相談」、「接続検討」、「契約申込み」の受付及び回答状況に関する情報、並びに広域機関における受付及び回答状況を定期的に取りまとめ、公表することを定めている。

今回、2019年度第3四半期（2019年10月～2019年12月）の系統アクセス業務に関する実績（受付及び回答状況）を取りまとめたので、公表する。

なお、本資料における「東京電力パワーグリッド株式会社」の事業者名称は、「東京電力PG」と記載する。

1. 対象電源

2015年4月1日以降に広域機関及び一般送配電事業者において系統アクセス業務に係る受付または回答を行った最大受電電力500キロワット以上の発電設備等の案件を対象とする。なお、発電容量の増加を伴わない改修等も含む。

ただし、調査期限末日時点（2019年12月31日）において回答予定日を超過して継続検討中（未回答）である接続検討の案件の総数に限り、2015年3月以前に受付を行った案件も含め集計している。

2. 集計結果

2.1. 事前相談

2.1.1. 受付件数

2019年度第3四半期（2019年10月～12月）に受付を行った事前相談の件数は以下のとおりである。

表1 事前相談の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年同時期(2018年10月～12月)(参考)			今回(2019年10月～12月)			
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関	4	—※1	4	10	—※1	10	6
北海道電力	20	62	82	30	25	55	▲ 27
東北電力	107	455	562	61	230	291	▲ 271
東京電力PG	73	316	389	17	79	96	▲ 293
中部電力	70	457	527	28	481	509	▲ 18
北陸電力	32	83	115	16	27	43	▲ 72
関西電力	116	739	855	30	317	347	▲ 508
中国電力	70	178	248	43	387	430	182
四国電力	35	121	156	11	33	44	▲ 112
九州電力	61	289	350	31	505	536	186
沖縄電力	1	5	6	1	4	5	▲ 1
	589	2,705	3,294	278	2,088	2,366	▲ 928

※1 広域機関は出力の合計値が1万キロワット以上の発電設備のみを受け付けており、電圧階級は特別高圧のみである。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

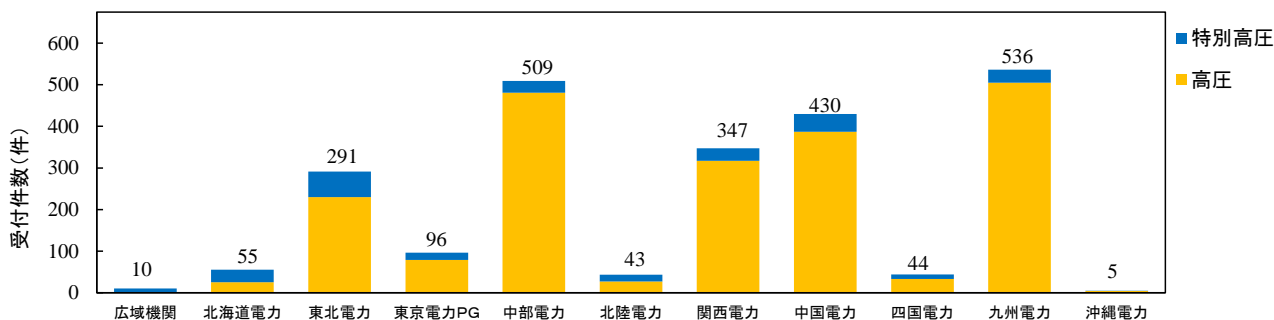


図1 事前相談の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別)
[2019年10月～12月]

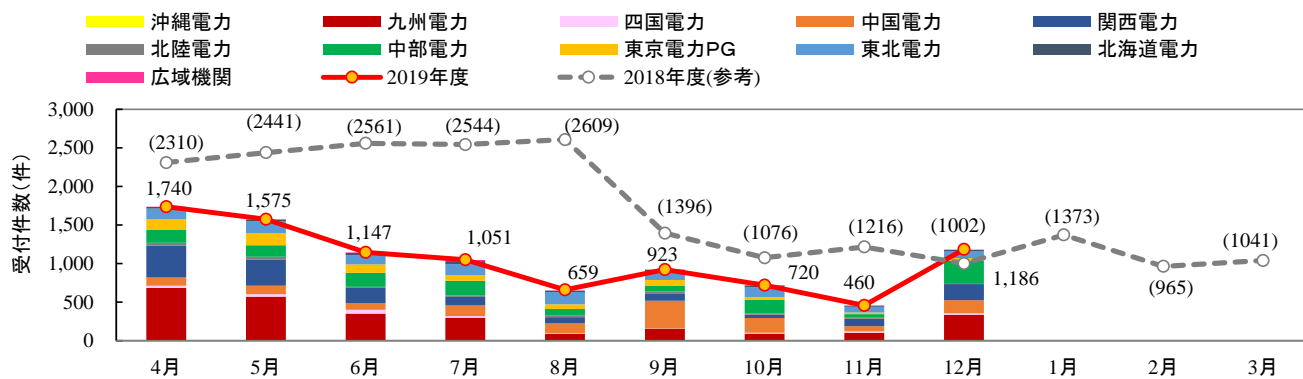


図2 事前相談の受付件数(広域機関と一般送配電事業者の合計)
[2019年度]

2.2. 接続検討

2.2.1. 受付件数

2019年度第3四半期（2019年10月～12月）に受付を行った接続検討の件数は以下のとおりである。

表2 接続検討の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年同時期(2018年10月～12月)(参考)			今回(2019年10月～12月)			
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関	9	—※1	9	21	—※1	21	12
北海道電力	6	48	54	12	7	19	▲ 35
東北電力	58	101	159	47	33	80	▲ 79
東京電力PG	26	120	146	18	59	77	▲ 69
中部電力	10	80	90	8	26	34	▲ 56
北陸電力	13	24	37	9	1	10	▲ 27
関西電力	9	84	93	7	16	23	▲ 70
中国電力	10	110	120	12	9	21	▲ 99
四国電力	7	23	30	5	3	8	▲ 22
九州電力	12	78	90	22	16	38	▲ 52
沖縄電力	2	4	6	0	1	1	▲ 5
	162	672	834	161	171	332	▲ 502

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

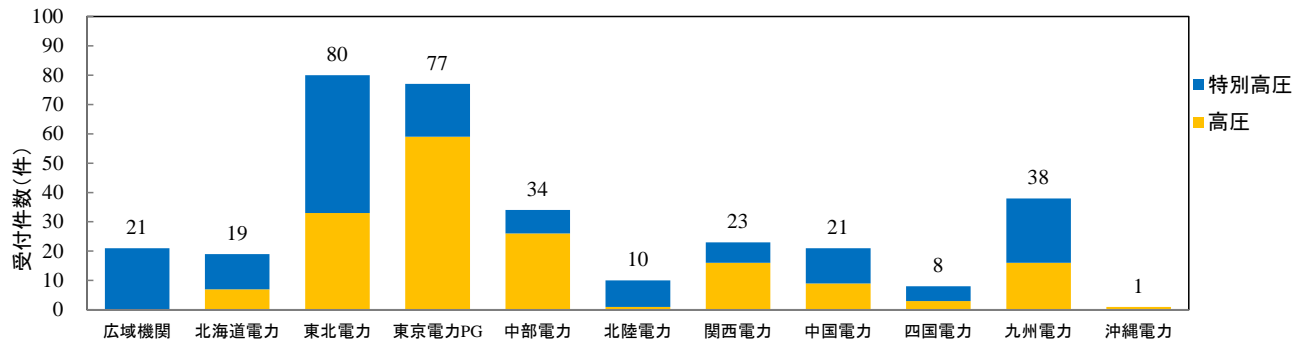


図3 接続検討の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) [2019年10～12月]

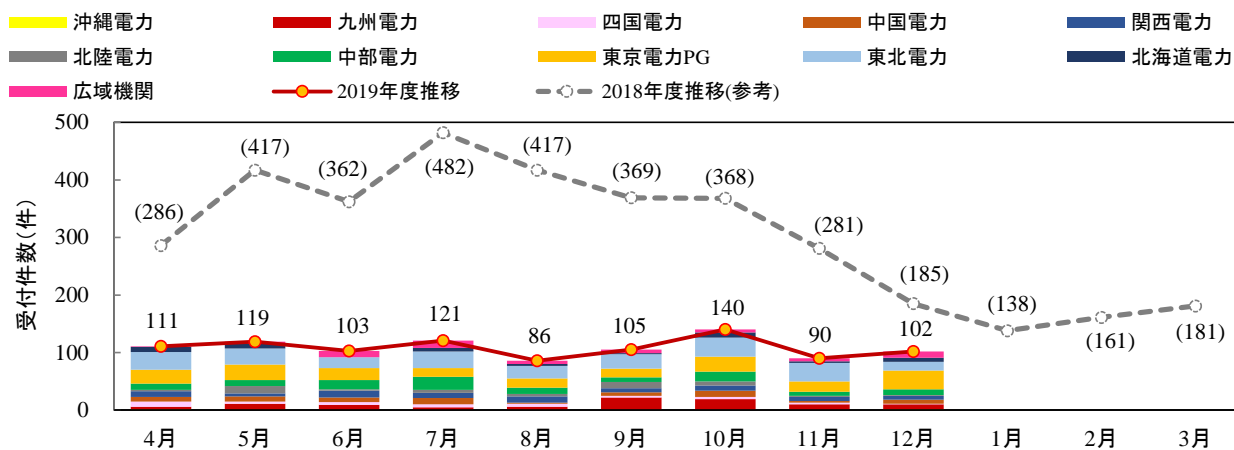


図4 接続検討の受付件数(広域機関と一般送配電事業者の合計) [2019年度]

2.2.2. 電源種別毎の受付件数

2019年度第3四半期（2019年10月～12月）に受付を行った接続検討の電源種別ごとの件数は以下のとおりである。なお、広域機関にて受け付けた案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。

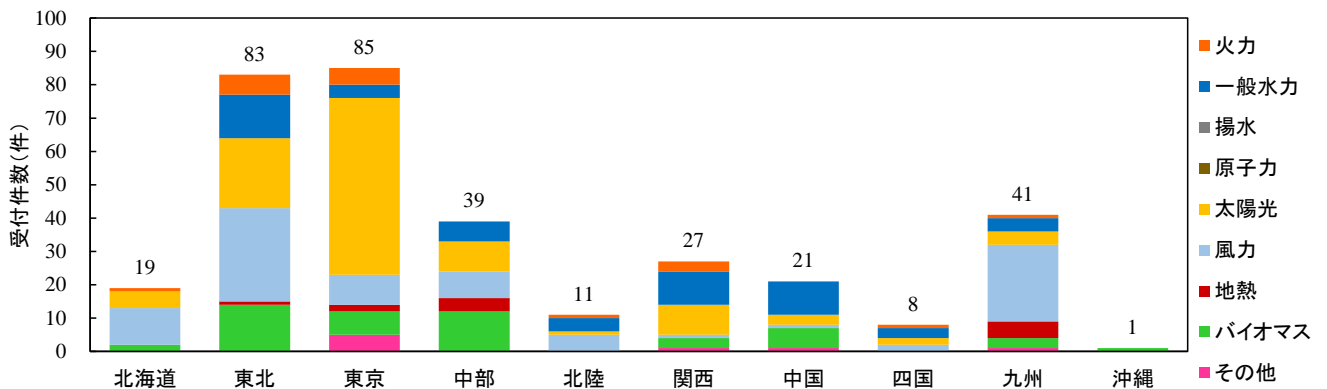


図5 接続検討の電源種別毎の受付件数(エリア別)
[2019年10月～12月]

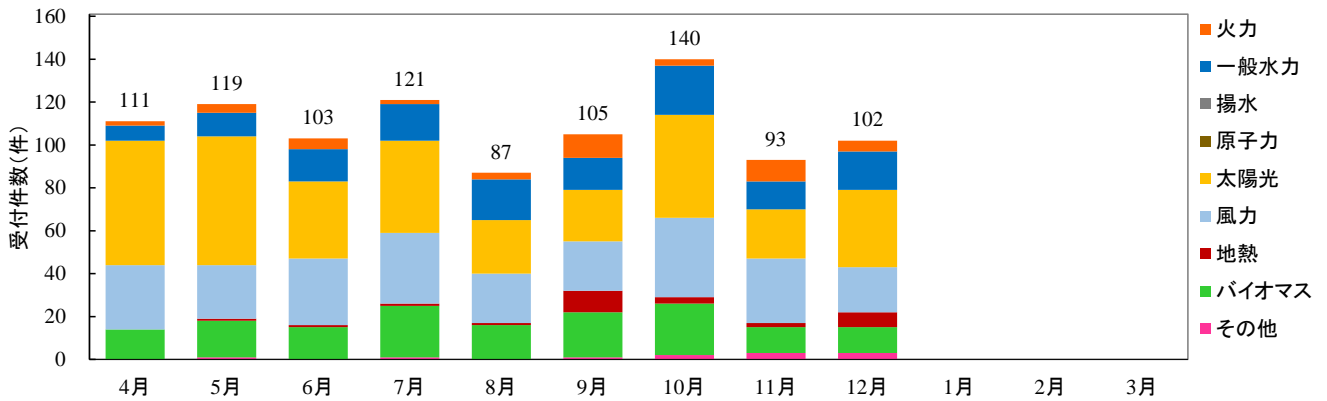


図6 接続検討の電源種別毎の受付件数(全エリア合計)
[2019年度]

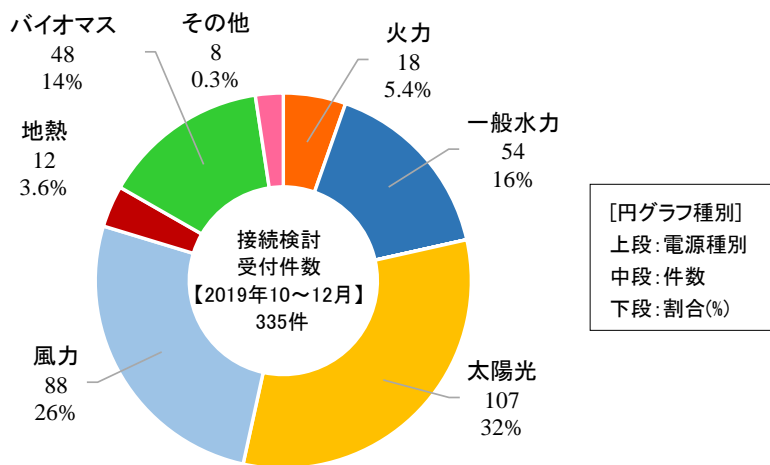


図7 接続検討の電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計)
[2019年10月～12月]

2.2.3. 回答件数および検討期間

2019年度第3四半期（2019年10月～2019年12月）に回答を行った接続検討の件数および検討期間は以下のとおりである。

※ 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

【用語の定義】

○検討期間は、送配電等業務指針第86条に基づき、3ヶ月を標準期間として調査した。

（接続検討の回答期間）

第86条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、接続検討の回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 系統連系希望者が高圧の送電系統への発電設備等（但し、逆変換装置を使用し、容量が500キロワット未満のものに限る。）の連系等を希望する場合 接続検討の申込みの受付日から2か月
- 二 前号に該当しない場合 接続検討の申込みの受付日から3か月

○回答期間超過理由の分類については、以下の区分ごとに集計した。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 電源募集Pによる保留

電源接続案件募集プロセス^{※1}の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス^{※2}の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※2 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

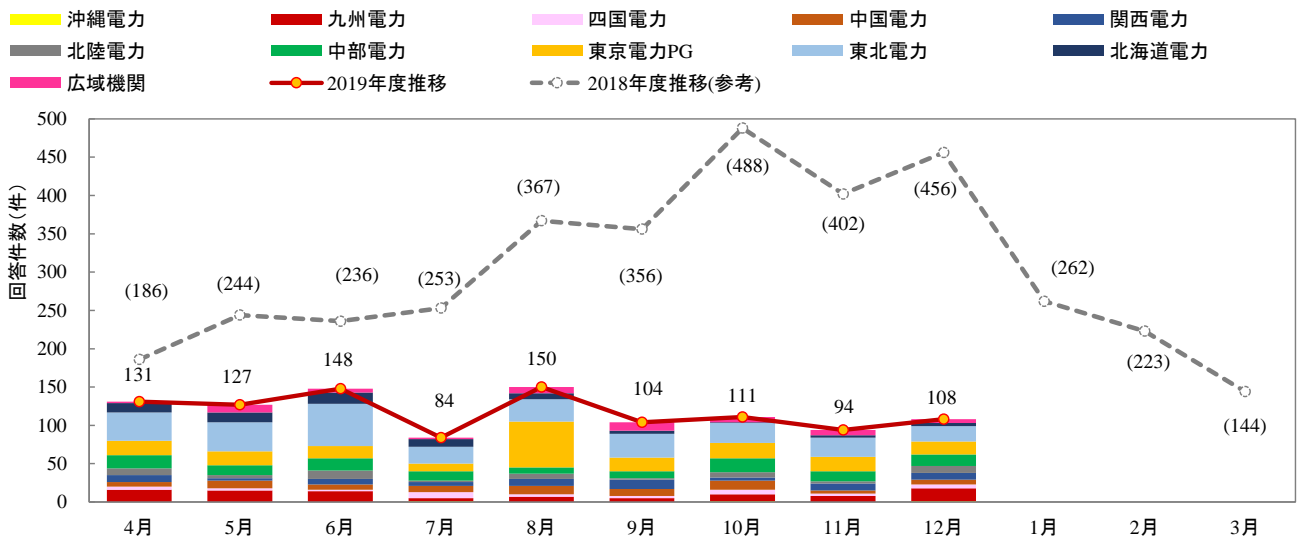


図8 接続検討の回答件数(広域機関と一般送配電事業者の合計)
[2019年度]

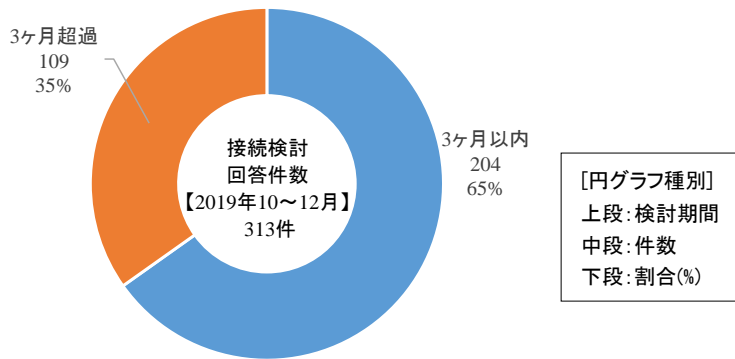


図9 接続検討の回答件数および検討期間実績 (広域機関と一般送配電事業者の合計)
[2019年10月～12月]

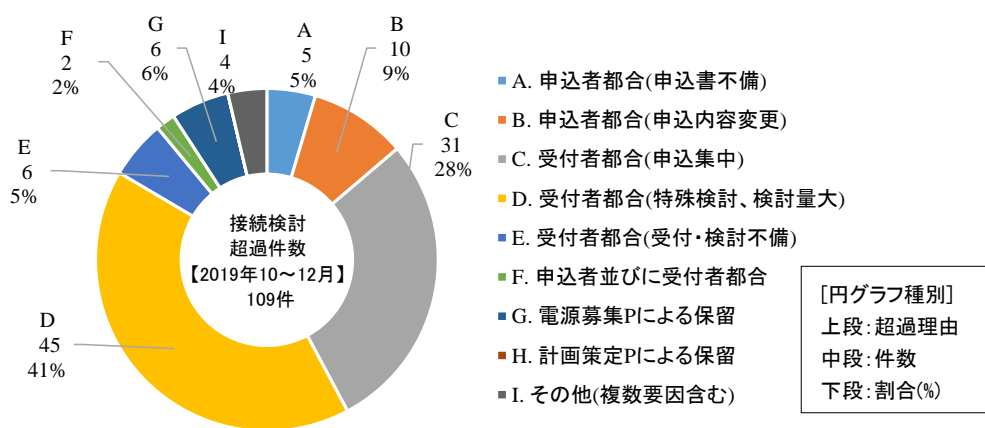


図10 接続検討の回答予定日超過理由
(広域機関と一般送配電事業者の合計)
[2019年10月～12月]

2.2.4. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

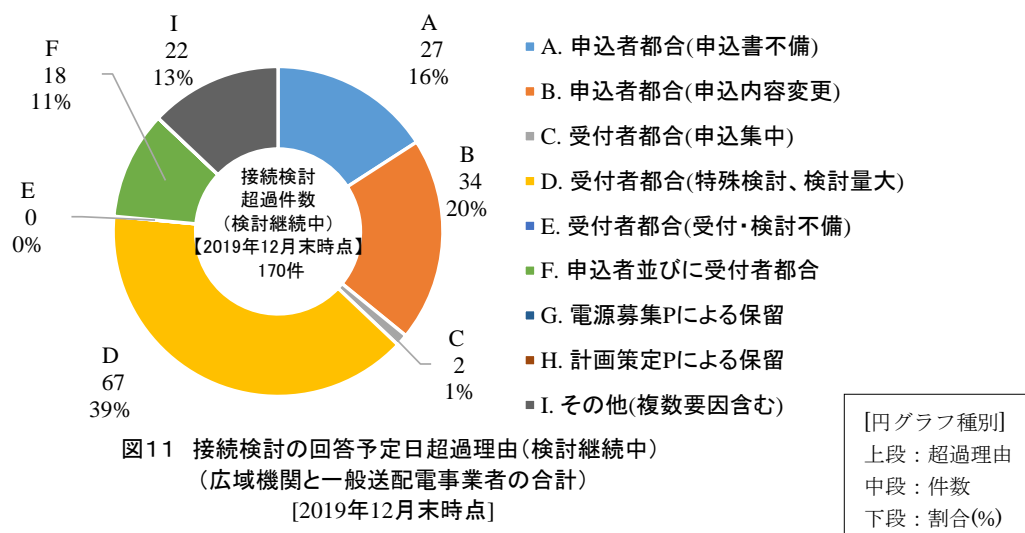
2019年12月末時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中(未回答)である件数は以下の通りである。
 なお、ここでは2015年3月以前に受付を行った接続検討の案件を含め調査した。

表3 接続検討の回答予定日超過件数^{※1}（検討継続中^{※2}）（広域機関および一般送配電事業者の合計）
 （件）

受付会社	2019年9月末時点	2019年12月末時点	増減
広域機関	3	5	2
北海道電力	27	28	1
東北電力	35	24	▲ 11
東京電力PG	41	33	▲ 8
中部電力	10	11	1
北陸電力	8	13	5
関西電力	2	10	8
中国電力	2	0	▲ 2
四国電力	3	3	0
九州電力	37	43	6
沖縄電力	2	0	▲ 2
合計	170	170	0

※1 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

※2 検討継続中案件：2015年3月以前受付及び2015年4月以降受付の案件のうち、調査時点で未回答となっている案件のこと



2.3. 契約申込み

2.3.1. 受付件数

2019年度第3四半期（2019年10月～12月）に受付を行った契約申込みの件数は以下のとおりである。

表4 契約申込みの受付件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年同時期(2018年10月～12月)(参考)			今回(2019年10月～12月)			
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道電力	1	16	17	2	3	5	▲ 12
東北電力	28	82	110	34	21	55	▲ 55
東京電力PG	0	139	139	7	75	82	▲ 57
中部電力	3	143	146	7	16	23	▲ 123
北陸電力	3	22	25	6	7	13	▲ 12
関西電力	15	116	131	13	3	16	▲ 115
中国電力	9	95	104	6	2	8	▲ 96
四国電力	4	28	32	3	7	10	▲ 22
九州電力	18	82	100	10	6	16	▲ 84
沖縄電力	1	2	3	0	0	0	▲ 3
合計	82	725	807	88	140	228	▲ 579

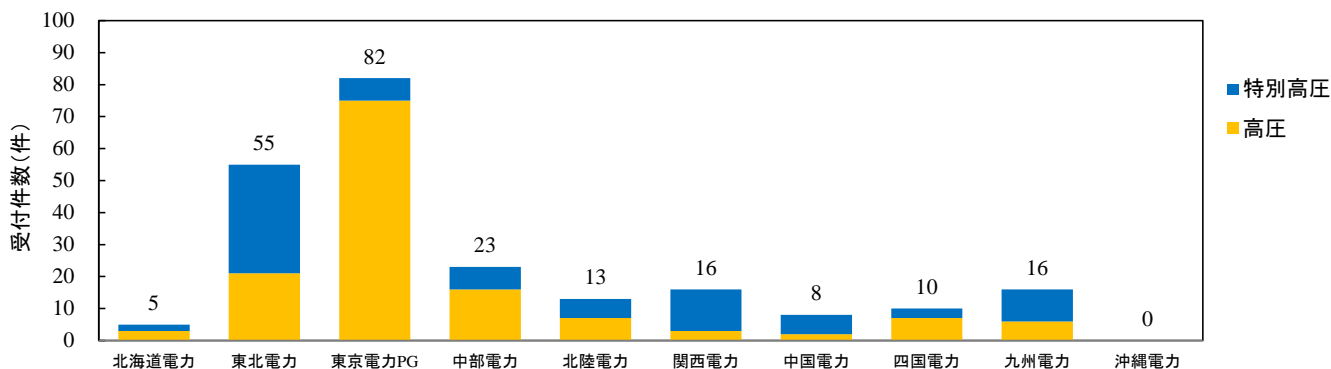


図12 契約申込みの受付件数(一般送配電事業者別)
[2019年10月～12月]

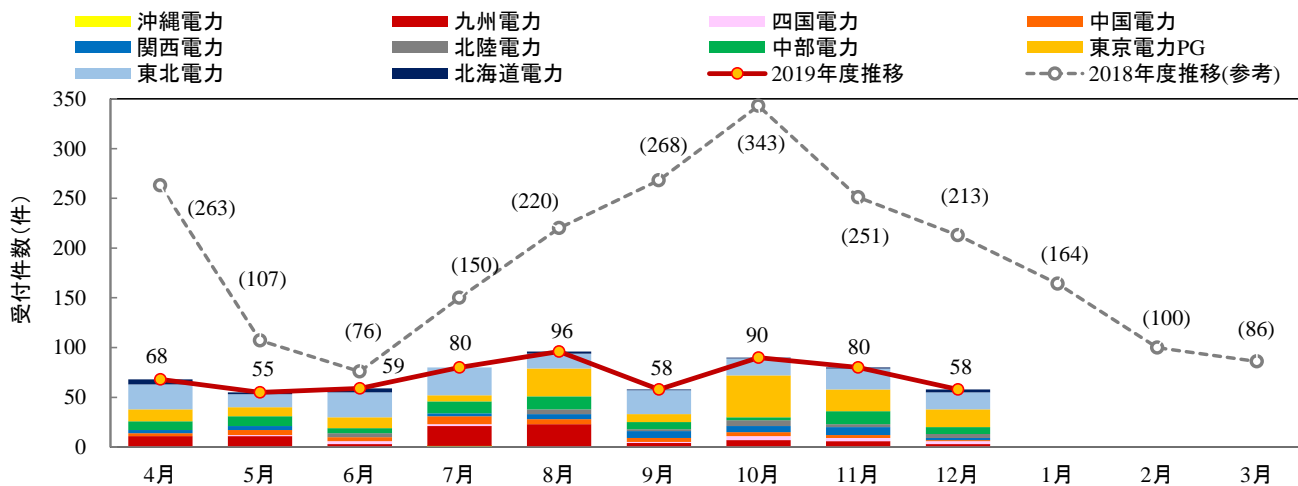


図13 契約申込みの受付件数(一般送配電事業者合計)
[2019年度]

2.3.2. 電源種別件数

2019年度第3四半期（2019年10月～12月）に受付を行った契約申込みの電源種別の件数は以下のとおりである。

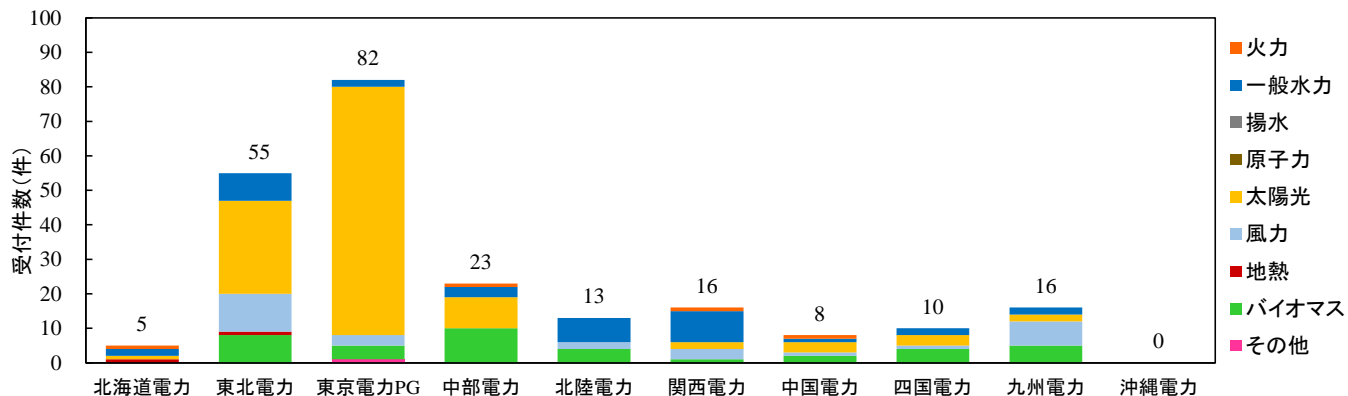


図14 契約申込みの電源種別毎の受付件数(エリア別)
[2019年10～12月]

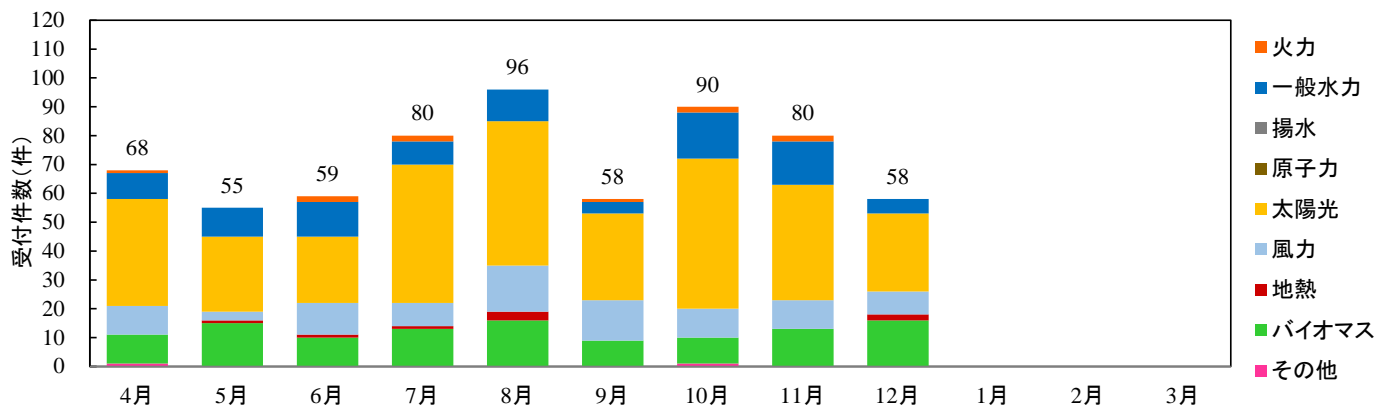


図15 契約申込みの電源種別毎の受付件数(全エリア合計)
[2019年度]

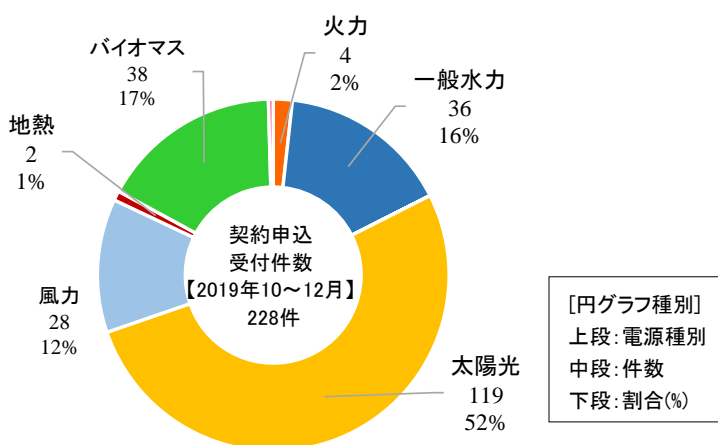


図16 契約申込みの電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計)
[2019年10～12月]

2.3.3. 回答件数および検討期間

2019年度第3四半期（2019年10月～12月）に回答を行った契約申込みの件数および検討期間は以下のとおりである。

【用語の定義】

- 契約申込みについては、FIT法に定める特定供給者に該当する場合において、接続検討の申込みと同時、あるいは接続検討の回答受領前に契約申込みを行うことができる「同時申込み」があり、通常の契約申込みとは標準回答期間が異なるが、両者を合算して集計した。
- 検討期間については、送配電等業務指針第98条並びに第100条に基づき、【通常申込み】の標準検討期間を6ヶ月、【同時申込み】の標準検討期間を9ヶ月として調査した。

（発電設備等契約申込みの回答期間）

第98条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、発電設備等契約申込みの回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 発電設備等系統連系希望者が低圧の送電系統への連系等を希望する場合 発電設備等契約申込みの受付日から1か月
- 二 前号に該当しない場合 発電設備等契約申込みの受付日から6か月又は発電設備等系統連系希望者と合意した期間

（同時申込み）

第100条 第89条第1項第1号にかかわらず、系統連系希望者がFIT法に定める特定供給者に該当する場合において、高圧又は特別高圧の送電系統とFIT電源との連系等を希望するときには、接続検討の申込みと同時に又は接続検討の回答受領前に、発電設備等に関する契約申込みを行うことができる（以下「同時申込み」という。）。但し、接続検討の申込みと発電設備等に関する契約申込みの申込内容は統一しなければならない。

- 2 一般送配電事業者は、系統連系希望者から同時申込みを受け付けた場合は、発電設備等に関する契約申込みの回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとし、回答期間内の日を回答予定日として、系統連系希望者に速やかに通知する。
 - 一 認定発電設備が太陽光発電設備の場合 発電設備等に関する契約申込みの受付日から9か月
 - 二 前号に掲げる以外の場合 発電設備等に関する契約申込みの受付日から9か月又は系統連系希望者と合意した期間
- 3 一般送配電事業者は、前項の回答予定日までに回答できない可能性が生じたときは、その事実が判明次第速やかに、系統連系希望者に対し、その理由、進捗状況、今後の見込み（延長後の回答予定日を含む。）を通知し、系統連系希望者の要請に応じ、個別の説明を行う。延長後の回答予定日までに回答できない可能性が生じたときも同様とする。
- 4 一般送配電事業者は、第2項に定める回答予定日及び回答期間にかかわらず、可能な限り早期に発電設備等に関する契約申込みの回答を行うよう努めなければならない。

- 回答期間超過理由の分類については、2.2.3. 回答件数および検討期間と同様である。

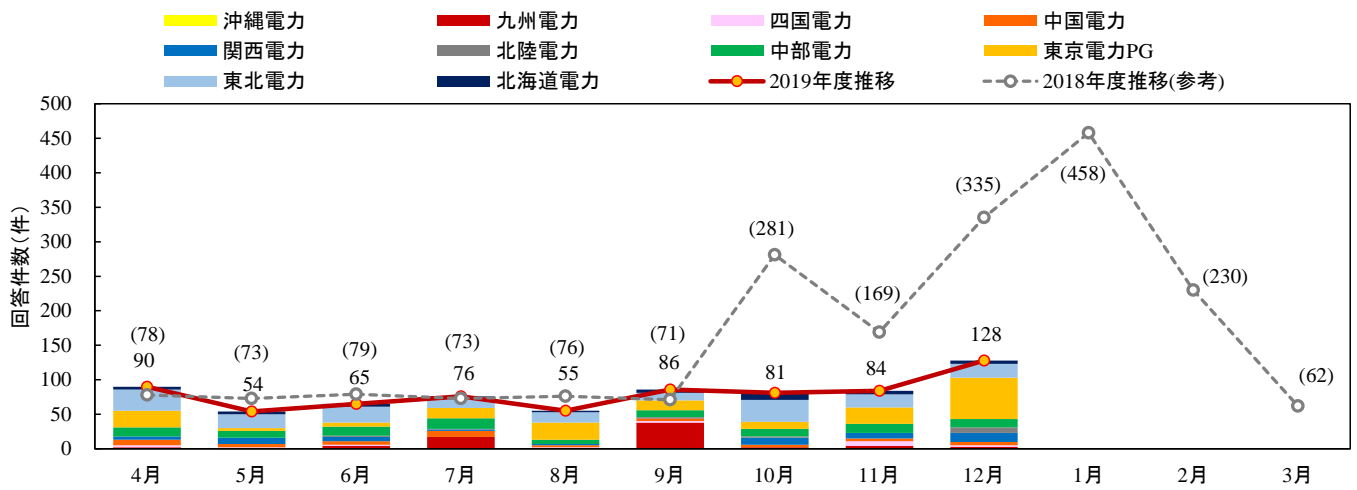


図17 契約申込み(通常・同時申込み)の回答件数 (一般送配電事業者合計)
[2019年度]

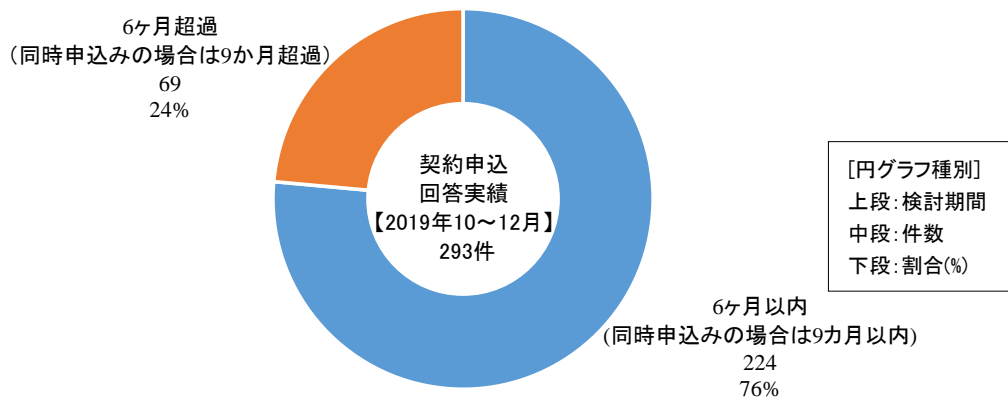


図18 契約申込み(通常・同時申込み)の回答件数および検討期間実績
(一般送配電事業者合計)
[2019年10~12月]

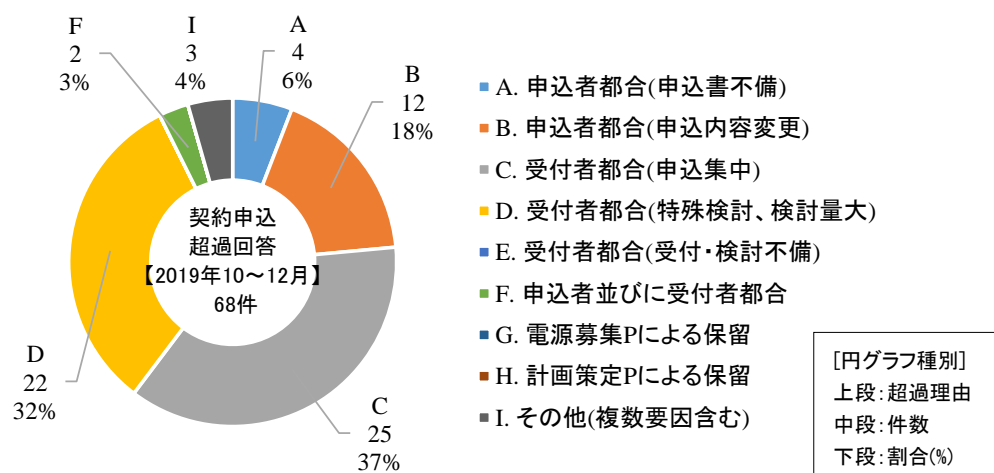


図19 契約申込み(通常・同時申込み)の回答予定日超過理由 (一般送配電事業者合計)
[2019年10~12月]

2.3.4. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2019年12月末時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下の通りである。

表5 契約申込みの回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)^{※1}） (件)

受付会社	2019年度9月末			2019年度12月末			増減
	通常申込	同時申込	合計	通常申込	同時申込	合計	
北海道電力	13	18	31	10	9	19	▲11
東北電力	22	3	25	18	3	21	▲4
東京電力PG	26	12	38	26	13	39	1
中部電力	17	7	24	15	7	22	▲2
北陸電力	3	2	5	6	2	8	3
関西電力	19	9	28	11	9	20	▲8
中国電力	1	24	25	1	24	25	0
四国電力	1	0	1	0	0	0	▲1
九州電力	49	66	115	48	60	108	▲7
沖縄電力	0	0	0	0	0	0	0
合計	151	141	292	135	118	253	▲39

※1 検討継続中案件：2015年4月以降受付の案件について調査時点で未回答となっている案件。

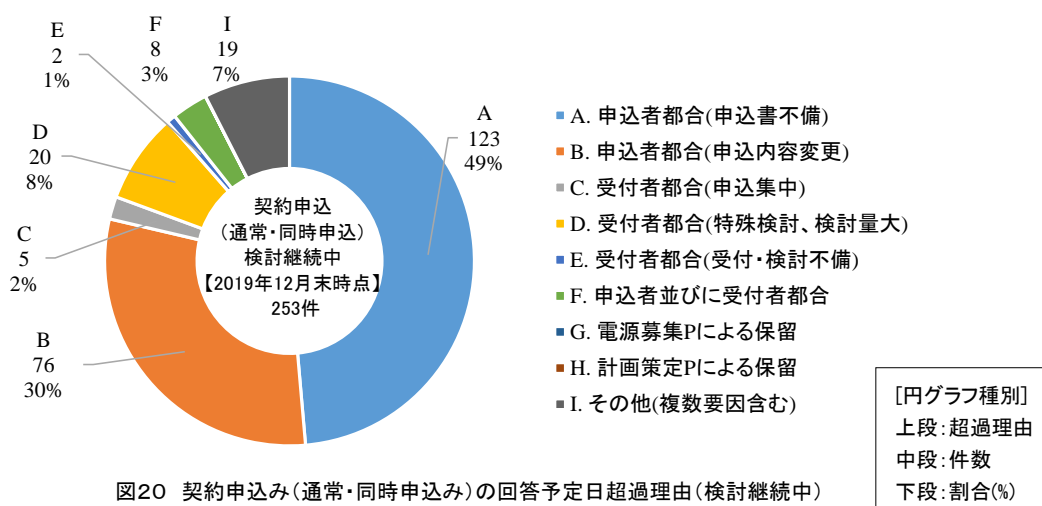


図20 契約申込み(通常・同時申込み)の回答予定日超過理由(検討継続中)
(一般送配電事業者合計)
[2019年12月末時点]

[円グラフ種別]
上段: 超過理由
中段: 件数
下段: 割合(%)

<参考> 年度推移

広域機関発足（2015年4月）以降における広域機関並びに一般送配電事業者において実施した系統アクセス業務に関する実績（「事前相談」、「接続検討」、「契約申込み」の受付状況）の推移は以下の通りである。

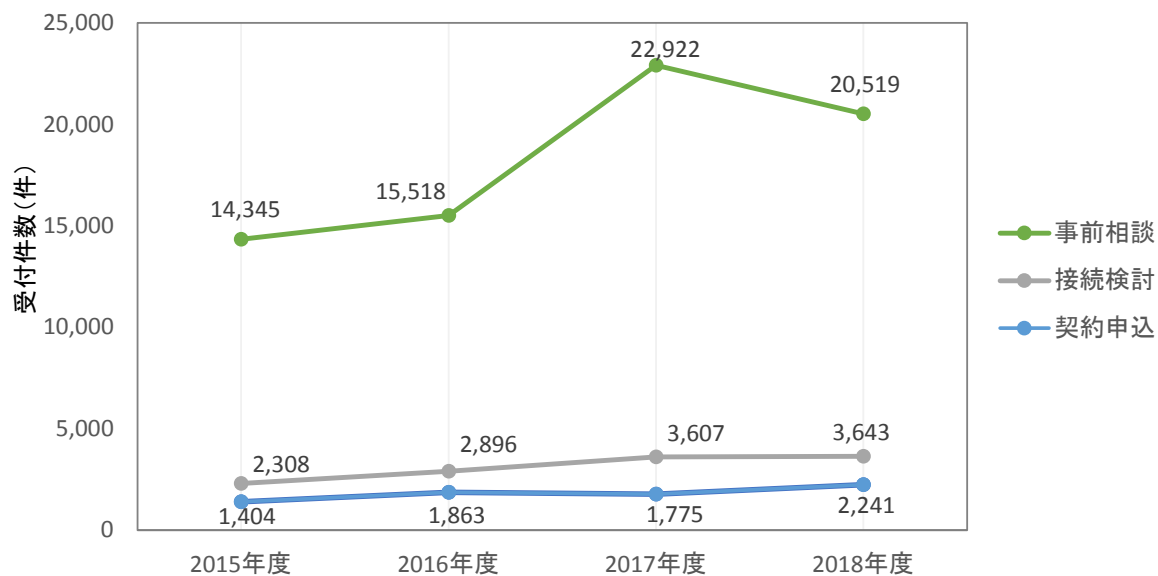


図24 年度別 事前相談・接続検討・契約申込みの受付件数の推移

(1) 事前相談

表6 事前相談の各社別受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年4~12月
広域機関	100	332	105	61	39
北海道電力	396	637	1,592	646	212
東北電力	2,300	1,705	2,529	2,853	1,114
東京電力P G	4,629	3,882	5,396	2,659	708
中部電力	2,059	3,472	4,136	4,110	1,352
北陸電力	332	425	478	622	203
関西電力	1,930	2,076	3,528	4,318	1,587
中国電力	1,123	1,256	2,744	2,405	1,350
四国電力	425	390	546	804	188
九州電力	1,038	1,256	1,796	2,003	2,690
沖縄電力	13	87	72	38	16
合計	14,345	15,518	22,922	20,519	9,459

(2) 接続検討

表7 接続検討の各社別受付件数の推移 (件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年4～12月
広域機関	65	77	52	54	60
北海道電力	43	106	323	229	47
東北電力	369	415	443	615	234
東京電力P G	638	811	1,085	853	195
中部電力	290	453	485	585	113
北陸電力	56	102	118	115	47
関西電力	262	312	354	328	77
中国電力	191	243	315	431	65
四国電力	92	134	139	110	39
九州電力	300	238	291	315	96
沖縄電力	2	4	2	8	2
合計	2,308	2,895	3,607	3,643	975

表8 接続検討の電源種別毎の受付件数の推移 (件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年4～12月
火力	113	64	40	25	45
一般水力	107	105	132	145	138
揚水	0	0	0	0	0
原子力	0	0	0	0	0
太陽光	1,731	2,005	2,602	2,806	353
風力	165	367	340	303	253
地熱	16	17	17	14	26
バイオマス	175	334	469	341	155
その他	6	7	11	13	11
合計	2,313	2,899	3,611	3,647	981

※接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

(3) 契約申込み

表9 契約申込みの各社別受付件数の推移 (件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年4~12月
北海道電力	26	37	187	46	19
東北電力	217	215	211	329	185
東京電力P G	161	538	277	618	156
中部電力	209	357	267	400	79
北陸電力	38	83	86	50	24
関西電力	190	233	256	251	38
中国電力	64	147	196	242	37
四国電力	51	71	79	69	17
九州電力	447	177	210	232	88
沖縄電力	1	5	6	4	1
合計	1,404	1,863	1,775	2,241	644

表10 契約申込みの電源種別毎受付件数の推移 (件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年4~9月
火力	31	30	26	16	10
一般水力	58	70	76	96	90
揚水	0	0	2	0	0
原子力	0	0	0	1	0
太陽光	1,212	1,462	1,252	1,900	333
風力	44	168	229	78	90
地熱	7	8	5	3	8
バイオマス	56	123	187	143	111
その他	0	2	3	5	2
合計	1,408	1,863	1,780	2,242	644

※契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。